

八幡平市の観光振興

自然を未来につなぐまち NATURAL RESORT 八幡平



産業建設部商工観光課観光振興係

目次

1. 地理条件
2. 観光資源
3. 観光の現状
4. 第4期八幡平市観光振興計画
5. インバウンド回復に向けた新たな取り組み

1. 地理条件

八幡平市は、県都盛岡市の北西約30キロメートルに位置し、東は二戸市・一戸町・岩手町と、南は盛岡市・滝沢市・雫石町、西は秋田県仙北市・鹿角市と、北は青森県田子町と、それぞれ接しており、秋田県や青森県を含めた北東北3県のほぼ中心に位置しています。

東北新幹線が停車する盛岡市に隣接し、東北自動車道と八戸自動車道が結節していることから、北東北観光のハブとして機能しています。



2. 観光資源

自然的観光資源

八幡平市には、十和田八幡平国立公園八幡平地域に、二つの日本百名山「岩手山」そして「八幡平」、国指定特別天然記念物「焼走り熔岩流」、新日本百名山に選ばれた「七時雨山」、秘湯「松川温泉」、日本名水百選「金沢清水」、日本の滝百選「不動の滝」等の数々の名勝、観光資源が存在します。

火山の集積である八幡平では、種類豊富な高山植物や秋の紅葉が観光客を魅了しています。



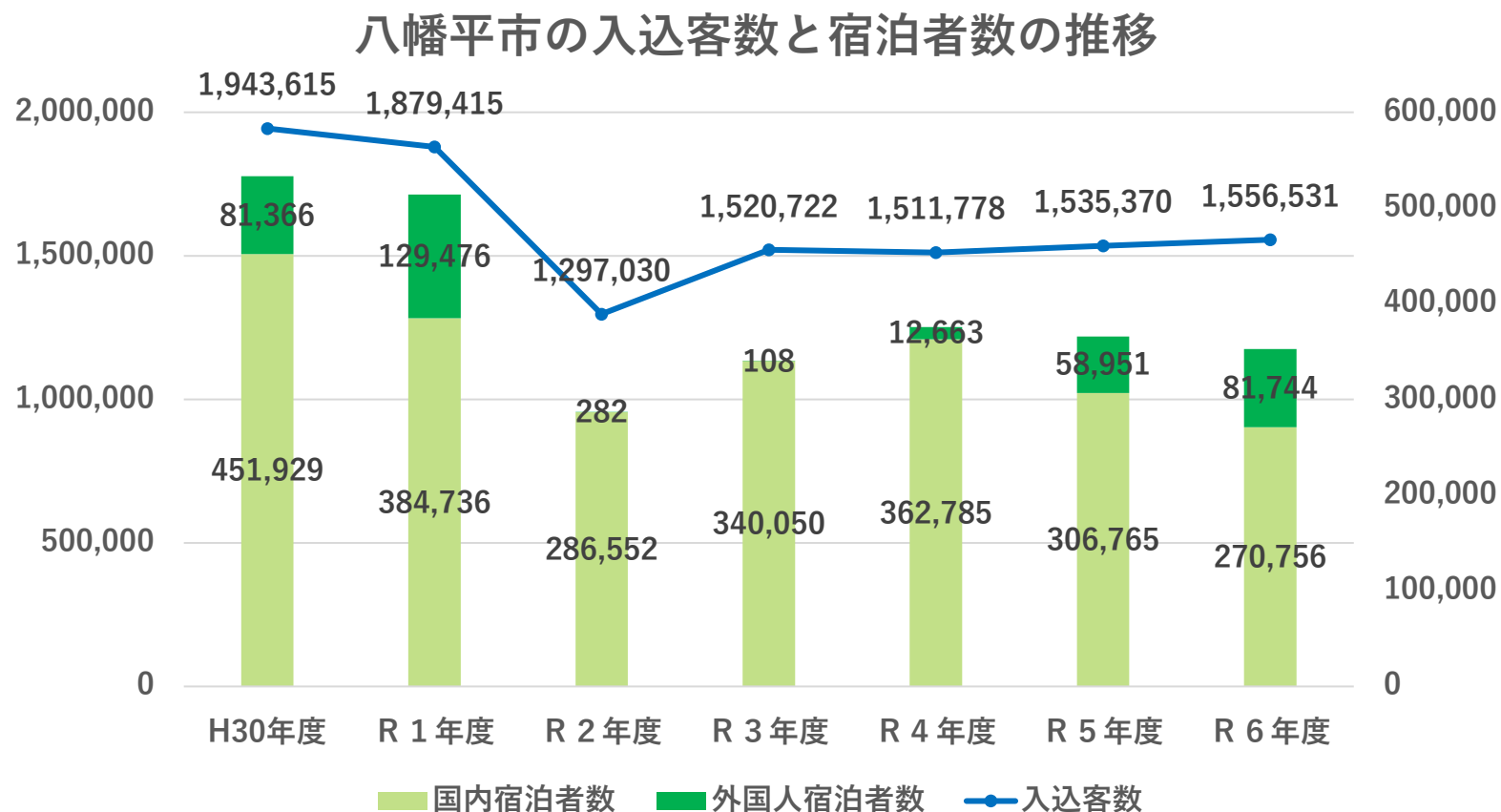
2. 観光資源

歴史的・文化的観光資源

縄文時代のストーンサークル「釜石環状列石」や、古くから牛馬放牧の証が残る「安比高原」、安比川流域に伝わる漆文化、江戸時代の物流を支えた鹿角街道、麴や酒造の発酵食品等、八幡平市の歴史を知る上で欠かせない遺産や文化は、今もなお暮らしの中に息づいています。



3. 観光の現状

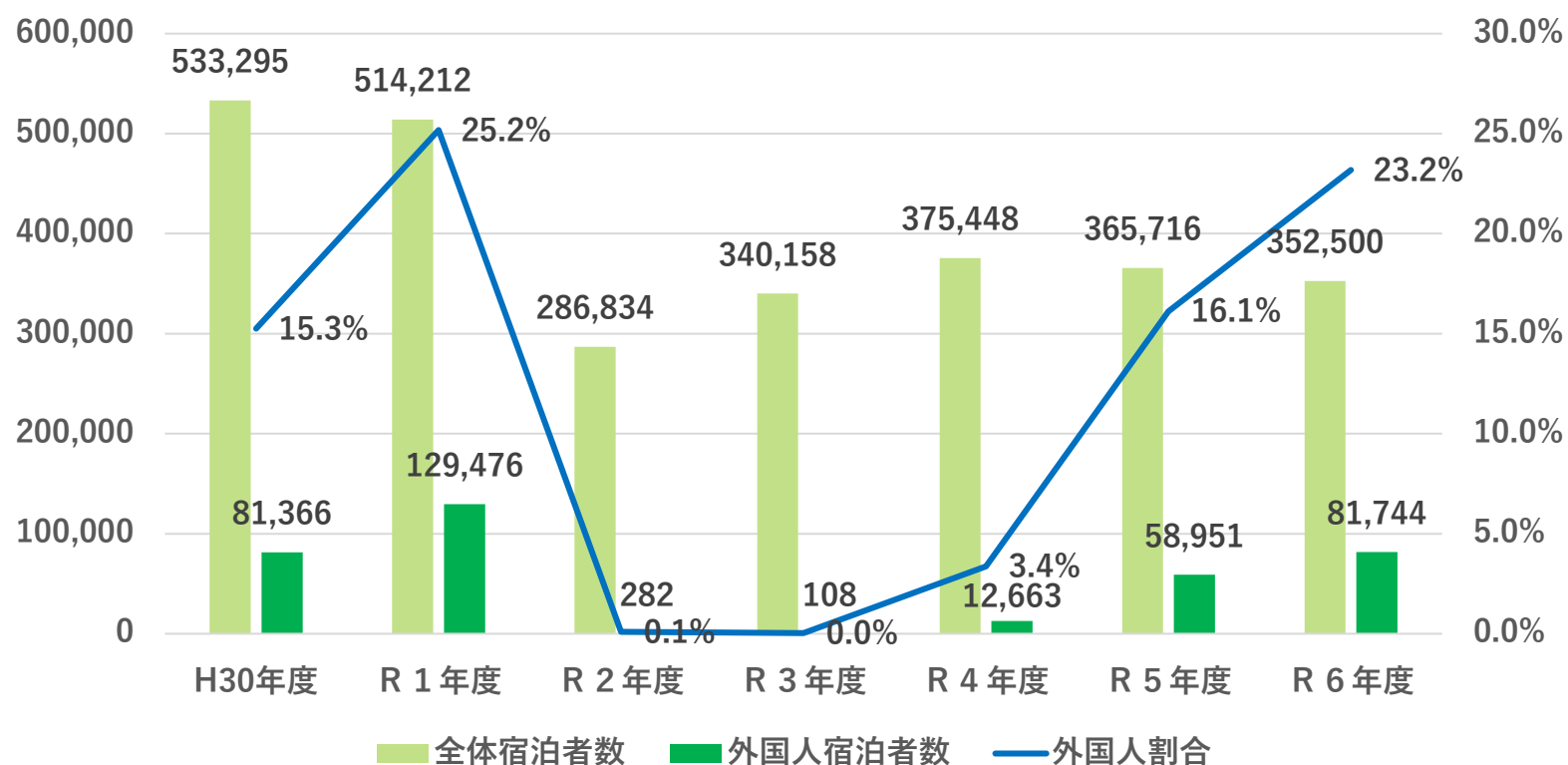


八幡平市の入込客数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度に入込客数、宿泊者数ともに大きく減少しましたが、徐々にではありますが回復しています。

令和4年度から外国人宿泊者数が増加していますが、国内宿泊者数が減少傾向となっています。

3. 観光の現状

八幡平市の宿泊者全体における外国人の割合

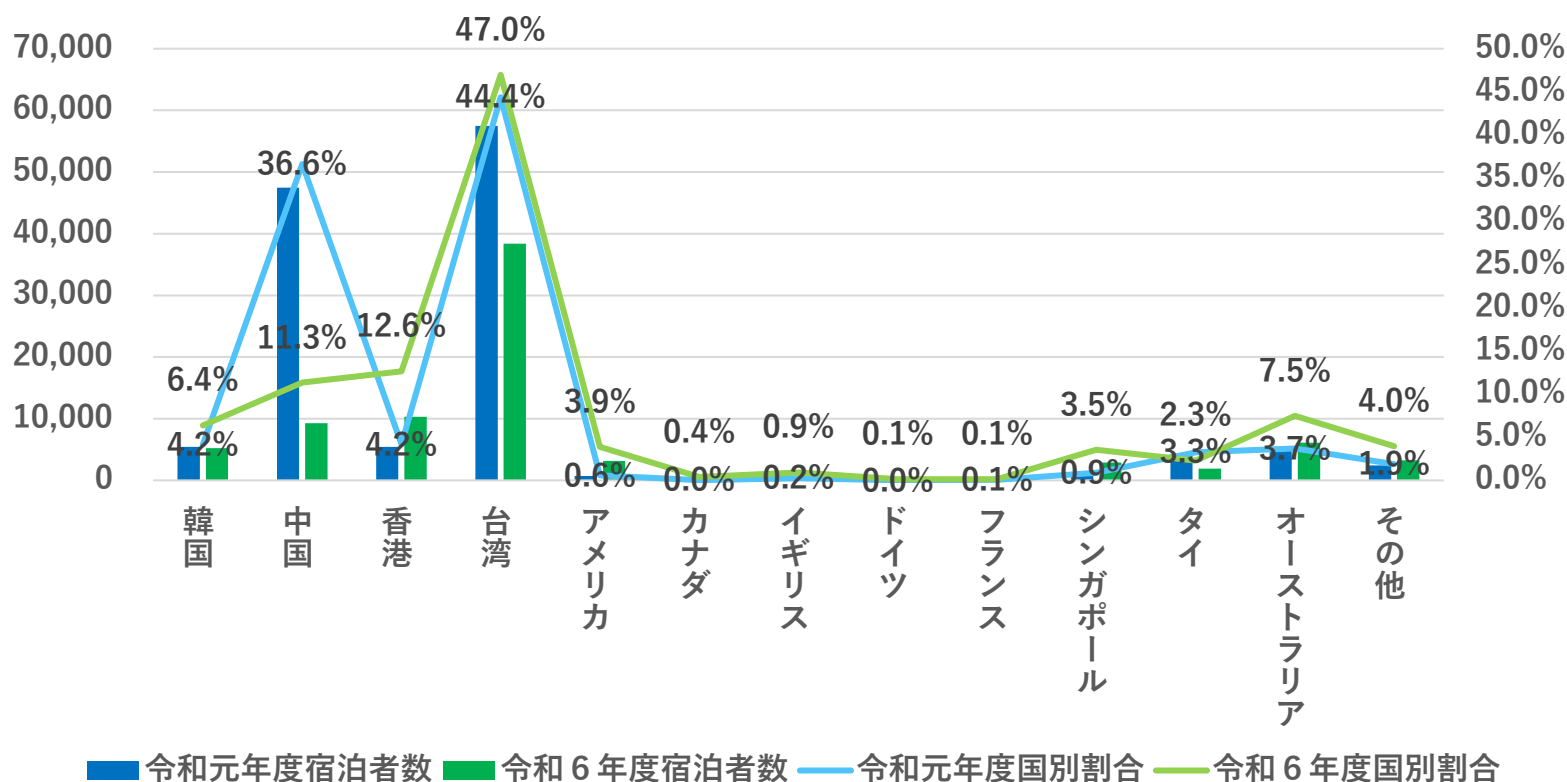


台湾からのチャーター便や国際定期便の就航により、令和元年度には外国人宿泊者の割合が25%に達し、地域での存在感が増しました。

しかし、令和2年度からは新型コロナウイルスの影響で外国人宿泊者がほぼゼロになりました。令和5年度には平成30年度を超える外国人の割合までに回復し、令和6年度には、20%を超える状況となっています。

3. 観光の現状

コロナ前と直近の国別宿泊者数の推移



コロナ前の令和元年度と直近の令和6年度の国別宿泊者数と当該年度の国別割合をグラフにしています。

宿泊者数は、香港、アメリカ、カナダ、ドイツ、シンガポール、オーストラリアがコロナ前より増加しています。国別割合は、もとも高い台湾がさらに増加するとともに、アメリカ、シンガポール、オーストラリアなどが数値を大きく伸ばしています。

4. 第4期八幡平市観光振興計画

計画の位置付けと期間

「第2次八幡平市総合計画後期基本計画」(※)に掲げる「おもてなしの観光による交流人口の増加」の実現に向けた実施計画として位置付けるものです。

観光振興計画が目指している観光を通じた持続可能なまちの実現には、5年を超える長期的な取組みを含めて、10年後、20年後を意識した計画を策定する必要があります。

そこで、本計画は令和9年(2027年)3月までの5年間に定めますが、施策によっては10年後の目標設定も行い、中長期的な視点での計画策定を行います。

また、観光振興計画は環境変化や各施策の進捗状況を踏まえ、再検討するステップを設けます。実施した取組みを振り返り、見直しを行うことで、目標の実現のためにより効果的な計画の推進を行います。

※現在は「第3次八幡平市総合計画前期基本計画」が策定されています。

4. 第4期八幡平市観光振興計画

八幡平市観光の将来像（長期的なビジョン）

**日本の美しい四季と暮らし
ナショナルパーク八幡平**

本計画のテーマ

**自然を未来につなぐまち
Natural Resort 八幡平**

ビジョンとテーマ

八幡平市観光の将来像として「日本の美しい四季と暮らし ナショナルパーク八幡平」という長期的なビジョンを掲げています。このビジョンを引き継ぎ、実現するために、計画期間内におけるテーマと、それに基づくアクションプランを策定しました。

このテーマは、「観光を通じて実現する持続可能な八幡平市の姿を、ターゲットとなる人たち（来訪者や市民）に観光を通じてどんなことを体験してほしいか、感じてほしいかという視点で示した言葉」です。

4. 第4期八幡平市観光振興計画

アクションプラン

テーマを実現、体現するために、次の3つのアクションプランと9つの施策を設定しています。

I. 「高めて、広げる」（豊かな自然の中で得られる刺激的・洗練された体験の拡充）

- 施策① 外国人観光客の受け入れ促進
- 施策② 自然を楽しむアドベンチャーの推進
- 施策③ 国際競争力の高いスノーリゾート形成の促進
- 施策④ スポーツツーリズムの推進

II. 「伝えて、育む」（八幡平市の歴史風土や自然環境の魅力発信と持続・発展）

- 施策⑤ 地熱等からの資源からSDGs、サステナビリティを学ぶ
- 施策⑥ 地域の歴史的・文化的資源、食文化の活用

III. 「つなぐ」（八幡平市観光全体を推進する取組み）

- 施策⑦ 豊かな観光資源を次世代につなぐ
- 施策⑧ 交通アクセスの拡充
- 施策⑨ 観光推進体制の強化

5. インバウンド回復に向けた 新たな取り組み

観光庁では、今後のインバウンドの本格的な回復を見据え、消費額増加、地方への誘客をより重視するという観点から、訪日旅行における消費単価が高い傾向にある高付加価値旅行者の地方への誘客を促進する目的で「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地」を公募しました。

その結果、当市を含む八幡平及び周辺地域エリアが令和5年3月に選定されました。令和5年度にはマスタープランを策定、令和6年度からマスタープランに基づいた調査業務をスタートしています。

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり
モデル観光地 11地域



5. インバウンド回復に向けた新たな取り組み

ヒト

地域版ガイド認定制度の創設を目指し、人材育成プラットフォーム「八幡平カレッジ」で学びながら仕事にスムーズにつなげる仕組みづくり

アシ

盛岡駅や各空港からのアクセスが課題であることから、日本版ライドシェアを視野に入れた地域交通の現状を調査・検討

ヤド

2030年にはエリア内で約7,300人泊の供給不足が起こると想定。客室の高付加価値化をしながら、エリア全体の収容力を向上

ウリ

スノーリゾートとして一定の評価を得ている。グリーンシーズンの追加コンテンツを開発しセールスを強化。他地域と連携し、滞在期間を長期化